

#7 ママとパパにきいてほしい「思春期」とは!?

～子どもとの関わりのヒントにしよう～

開催日 2024年10月16日(水)



講師 | 石森正恵さん

地域で医療的ケア児、産後ママの支援をしている石森正恵さんにお話しいただきました。ママ・パパ自身の「思春期」時代も振り返りながら、思春期の特徴や心とからだについて学ぶことで理解が深まりました。グループワークでは参加者同士が対話し、子育てについて共感したり、悩みを共有できたり、新たな考え方も得られる有意義な時間となりました。



#8 赤ちゃんと一緒に話そう、遊ぼう!

初めてママのプログラム～マザースタート・プログラム～

開催日 2024年10月17日・31日、11月7日・21日(木) (4回連続講座)



講師 | NPO法人ワーカーズ・コレクティブ ちろりん村
マザースタート・プログラムファシリテーター

4日間でお母さん達の繋がりが出来、更に赤ちゃんも一緒でお互い子育ての悩みなども共有出来る空間になりました。子育てには仲間が大切だと思います。お母さんの孤立感が大きいので、仲間と一緒に支え合える事で、辛い事があっても、話せる場所があると力が湧いてきます。これからも、お母さんが笑顔になれるような子育てのお手伝いが出来ればと思っています。



#9 中学校に“包括的性教育”を届けたい!

～いま子どもたちに必要な学びとは?～

動画配信 2024年11月11日(月)～2025年3月31日(月)



講師 | (株)正進社コロカラ編集部のみなさま

すこし難しい名前の「包括的性教育」ですが、その内容は性教育に限らず、人のあり方、コミュニケーションなど、まさに人として生きていくために必要な内容だと実感しました。トピックを知るだけでも課題の広さを知ることができますし、具体的な授業内容の例もあり臨場感がありました。これは人に優しくなるための教育だと思いました。



3月31日まで動画配信

／ パリテ34号 ／

企画運営委員会委員 編集後記

今回の特集は全ての人に必要な情報だと思います。世界基準の8つのキーコンセプトは初めて知りました。「自分を大切に」「あなたのことはあなたが決めていい」など性教育にとどまらず常日頃から声かけて何でも言い合える親子関係を築いていきたいと思っています。 稲葉委員

現代は多様性の時代ですが、まだまだ格差があり、偏見や辛い思いをしている人がいるのも事実です。自分が勉強不足で知らなかったこともあります。だからこそ、少しでも理解して全ての人が生きやすい世の中であって欲しいと思います。 佐藤鹿子委員

今号の特集の包括的性教育。思春期になると性に関する親子のコミュニケーションは難しくなりますが、「自分のからだを大切にすること」や「コミュニケーション」など、子どもが小さい時から家族内で性に関する会話をすることが大切だと実感しました。 寺澤委員

今の子ども達には「包括的性教育」を学んでほしいです。私も母親として、何かあった時には子どもから相談してくれる関係性を大切にしたいです。そして「性」への関心は自然なことだからこそ、まずは自分も相手も大切にしながら信頼関係を築いてほしいと伝えたいです。 内海委員

シオリーヌさんのインタビューを含む性教育の特集で「権利の尊重」について改めて考えさせられました。またONBの記事では、これが男女問題だけでなくZ世代の若者全体の課題ということに気づき、就活を控える大学1年の娘を持つ親として、この閉鎖的な組織文化の改革を願わずにいられません。 佐藤優子委員

日本社会では「性の話はタブー」とされてきて、家庭でも学校でも性教育を受ける機会が少ないです。しかし、正しい知識がなければ、最終的に困ることになります。そうならないように、この情報を活用していただくと幸いです。 秦委員

表紙のメッセージ「あなたのからだはあなたのもの。あなたが決める権利がある」は当たり前のように、いわゆる上下関係(親子・教師と生徒・先輩後輩・上司部下など)の場面では悪気なく抑圧されることが多くあります。この問題は根深いですが、その解決にこの号は一助になります。 大森委員

男子にも女子にもきちんと自分の権利を知ってほしい。とはいえやはり伝え方はむづかしいと感じてしまうのでシオリーヌさんが発信している動画コンテンツや、コロカラBOOKという教材は素晴らしいと思いました!どんどん普及されて性の情報を知ることが当たり前の世の中になってほしいと思います。 浅見委員